

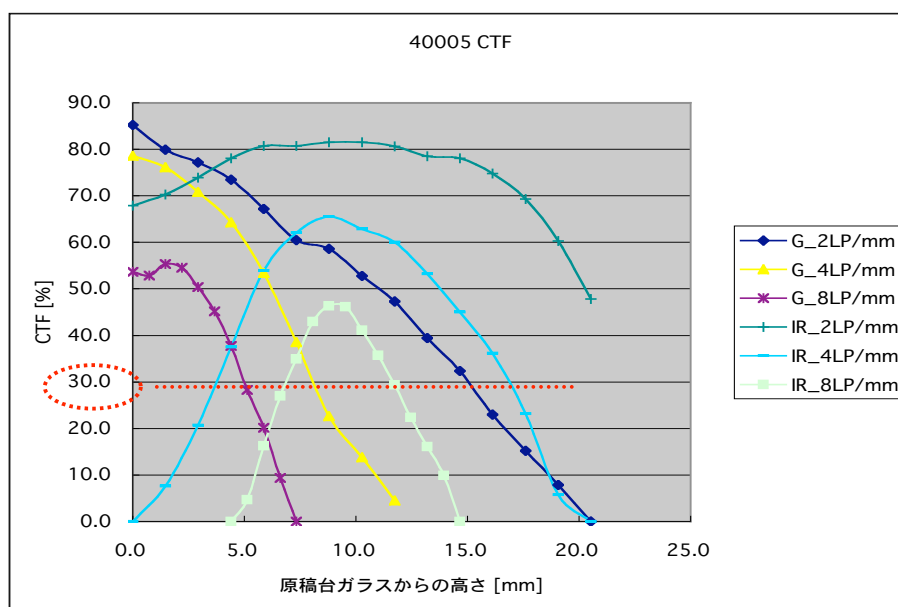
参考技術情報

■APPENDIX－1：焦点位置について

本製品は、白色光源での最適焦点位置が原稿台ガラス表面直上に有ります。また、赤外線光源での最適焦点位置は、原稿台ガラス面から約 6~10mm 程浮きます。次のグラフは、原稿台ガラス表面からの高さに対する、光学分解能を表すグラフの参考例です。（製品の事例であり保証値ではありません。）

グラフの見方：

- ・横軸は、スキャナ原稿台ガラス表面からの高さを表します。[mm]
- ・縦軸は、光学分解能を表し一般的に 30%以上にて「光学分解能が有る」と言われます。
- ・2LP/mm、4LP/mm、8LP/mm はそれぞれ、1 ミリ当たり 2 本、4 本、もしくは 8 本の線チャートを意味し、200dpi、400dpi、800dpi のスキャン解像度に相当します。



グラフから光学分解能を読み取る例：

- ・白色モード、8LP/mm(800dpi相当)での使用においては、0.0~5.0mmまで使用可能です。
- ・赤外線モード、2LP/mm(200dpi相当)での使用においては、0.0~20.0mm以上使用可能です。